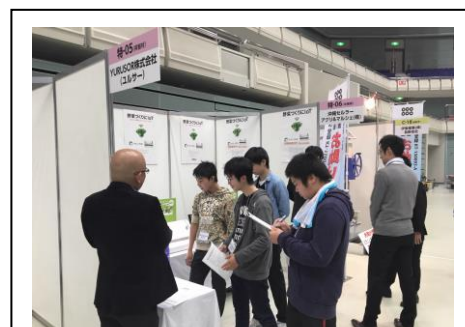


平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	産業フェア in 信州 2017『IoT：モノのインターネット時代へ』
事業主体 (連絡先)	産業フェア in 信州実行委員会 担当：今井 寛 TEL.026-227-2428 / FAX026-227-2758
事業区分	産業振興・雇用拡大に資する事業（その他地域の特性、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業）
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,522,020円（うち支援金：2,641,000円）

事業内容

近年、モノづくり分野では「IoT」の重要性が叫ばれています。2010年以降、ドイツのやアメリカ・欧米で国家的なIoT関連プロジェクトが先行する中で、日本も『日本再興戦略2016』の中で、今後の生産性革命を主導する最大の鍵は、IoT等を活用する『第4次産業革命』であると宣言し、この分野を伸ばすことで約30~40兆円の付加価値を作り出すとしています。このような中で長野県はより広域的なビジネス交流に関心が高まっている。そこで、本フェアでは「IoT」をテーマに、地域産業の付加価値づくりやビジネス交流からのチャンスをとらえ、今後の信州のものづくり発信と地域住民に対する興味や関心を促す機会とすることを目的とした。



【学生に技術説明】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 今回北信地域にも広げ出展募集した結果、飯山市や中野市からもあり、また高崎市・上田市・富山市・高岡市等北陸新幹線沿線地域に呼びかけたことから多くの出展があり、企業間交流ができた。
- ② IoT セミナーや企業展示等、今後新分野進出になるヒントを得ていただけた。
- ③ 小学生や高校生が多く来場いただき、地域企業を知り将来の就職等の参考になったと思う。
- ④ 北信地域の産業はもちろん、モノづくりが我が国に必要なことが発信できた。

【目標・ねらい】

- ① 地元企業の販路拡大
- ② 新分野への進出
- ③ 次代を担う世代の人材育成
- ④ 地域住民への地域企業発信

※自己評価【A】

【理由】

多くの来場者（企業および地域住民）にフェアの狙う事項について十分PR出来、商談等による産業振興も出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は商談会等のウェイトを増やす企画を計画し、企業間の売上増による直接的メリットを向上させていきたい。また、次代の学生等に地元で働くよう魅力発信のための企画をすすめたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある